

別紙「評価項目及び評価の着眼点」＜認知症対応型共同生活介護＞

評価項目		評価の着眼点
<b>1 法人の適格性（配点 25 点）</b>		
(1)	運営実績・経験	当該事業をはじめ介護保険法に基づくサービス事業において十分な運営実績及び経験を有しているか。
(2)	個人情報の保護、職員の守秘義務	個人情報の保護や職員の守秘義務について必要な措置がとられ、個人情報の適正な取扱いが期待できるか。
(3)	法人の経営状況、資金計画等の妥当性	法人の財務状況が良好であり、当該事業の運営に支障がないか。 整備、運営に関する無理のない資金計画、実現性がある償還予定となっているか。
<b>2 運営全般について（配点 55 点）</b>		
(1)	当該施設の運営に係る基本方針	事業所運営の方針に具体性があり、方針を職員と共有し事業運営に反映する仕組みは十分か。 認知症高齢者の介護についての考え方が確立されているか。
(2)	利用者に配慮された運営	ハード・ソフト面に限らず、利用者が安全かつ快適な日常生活を送ることができるように、十分配慮されているか。
(3)	利用者の重度化、看取りに対する取組	利用者の重度化、看取りに対する考え方が確立されており、適切な対応が期待できるか。
(4)	人材確保、職員の待遇に対する取組み	人材確保の取組みに対して具体的な計画があるか。 職員の待遇（昇給・賞与の有無など）等に関して、基本的な考え方や職員の定着につながるような具体的な取組みがあるか。
(5)	利用者の確保	利用者確保のための具体的な方針はあるか。
(6)	医療機関及び他の介護保険施設等との連携体制	医療機関・歯科医療機関及び他の介護保険施設等との連携体制に関する基本的な考え方や具体的な計画があるか。
(7)	地域との連携、交流	運営推進会議の構成員や会議の内容について、具体的な計画はあるか。 地域に開かれた運営を行うために具体的な計画はあるか。
<b>3 危機管理体制（配点 15 点）</b>		
(1)	事故防止への取組み及び事故発生時の対応	利用者の誤嚥や転倒など日常的な事故防止や事故発生時の対応、再発防止のための対策などが具体的に計画されており、適切な対応又は指導が期待できるか。
(2)	感染症対策	感染症等の発生防止、発生時の対応並びに再発防止のために必要な措置が具体的に計画されており、適切な対応が期待できるか。事業継続のための具体的な取組みや計画があるか。
(3)	非常災害対策	火災や天災など非常災害時等の危機管理体制や利用者及び職員の避難、救出の実施方法等について必要な措置が具体的に計画されており、適切な対応が期待できるか。事業継続のための具体的な取組みや計画があるか。
<b>4 計画予定地（配点 10 点）</b>		
(1)	立地条件	地域との交流が期待できる立地か。 洪水、津波による浸水災害及び土砂災害の被害想定はどのくらいか。